

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：3/4～3/8

・ 3/4(月)

小池都知事と築地再開発、東日本大震災から間もなく 8 年、米朝首脳会談、新元号「有識者懇談会」、ファーウェイ副会長がカナダ政府などを控訴へなどについて報じられました。これら例示されたトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、特に問題は見られませんでした。

・ 3/5(火)

ゴーン被告明日にも保釈へ、中国で全人代はじまる、国会論戦、森友問題、横浜市でやけどの長女（3）放置で逮捕、米朝首脳会談などについて報じられました。これら例示されたトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、国会論戦については今回のような取り上げ方が続くのであれば問題と考えられるものでした。また森友問題については一部で印象操作が疑われる箇所がありました。なお、横浜市でやけどの長女（3）放置で逮捕については検証者の所感を記しました。

・ 3/6(水)

カルロスゴーン被告が保釈、籠池被告初公判、統計不正問題、38 ノースがミサイル関連施設の衛星写真を公開などについて報じられました。これら例示されたトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、籠池被告初公判および統計不正問題についての報じ方には放送法に反する箇所や印象操作の疑いのある箇所が見られました。

・ 3/7(木)

ファーウェイがアメリカ政府を提訴、景気基調判断を引き下げ、内閣法制局長官発言問題、北朝鮮問題などについて報じられました。これら例示されたトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、ファーウェイがアメリカ政府を提訴および景気基調判断を引き下げについては報じ方に放送法上問題と考えられる部分が見られました。また、内閣法制局長官発言問題については検証者の所感を記しました。

・ 3/8(金)

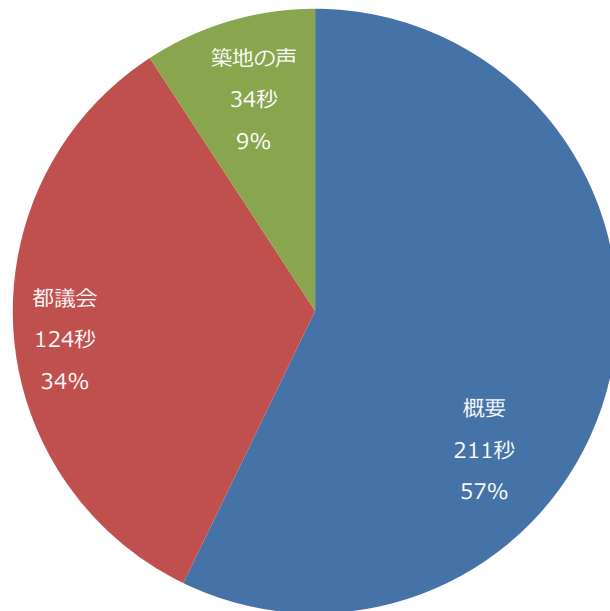
カルロスゴーン被告が家族と新宿御苑に、国際女性デー、大坂都構想巡り府知事と市長が同時辞任、内閣法制局長官を厳重注意などについて報じられました。これら例示されたトピックについて放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、大坂都構想巡り府知事と市長が同時辞任についての報じ方には不十分な点が見られました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年3月4日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：小池都知事と築地再開発、東日本大震災から間もなく8年、米朝首脳会談          新元号「有識者懇談会」、ファーウェイ副会長がカナダ政府などを控訴へ</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小池都知事と築地再開発</li> <li>・和牛の遺伝子が中国に持ち出されかける</li> <li>・東日本大震災から間もなく8年</li> <li>・東京目黒区虐待死事件から1年</li> <li>・大戸屋が従業員の不適切動画で一斉休業</li> <li>・米朝首脳会談</li> <li>・新元号「有識者懇談会」</li> <li>・ファーウェイ副会長がカナダ政府などを控訴へ</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today             <ul style="list-style-type: none"> <li>小池都知事と築地再開発</li> <li>和牛の遺伝子が中国に持ち出されかける</li> <li>京都福知山市の高校グラウンド脇で土砂崩れ</li> <li>俳優高嶋政伸さんが接触事故</li> <li>ザギトワ選手が日本の魅力をPR</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小池都知事と築地再開発：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>小池都知事の築地を巡る方針が都議会で追及されたことが取り上げられた。          このトピックに当てられた秒で、時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		



このトピックについては以下に朱記したように VTR で取り上げられていた。

ナレ「過去最多の 3 万 8000 人が参加した東京マラソン。日本記録保持者の大迫選手はまさかの途中危険。優勝したのはエチオピアの選手でした。話題になったのは表彰式です。小池都知事はポケットに手を入れたまま、さらにスタッフが傘を差して雨から守っています。」

"記者「ポケットに手を突っ込んでいるというのがネットで。」

小池都知事「あらあら、すいません、はい、いえいえいえ失礼しました、それは、はい。」"

"ナレ「今日の都議会でも野党がチクリ。」

山崎一輝（都議会自民党政調会長）「あのような行動はぜひ、謹んでいただきたい、東京のトップリーダーですから。」

ナレ「このあと、自民党の都議は築地の再開発をめぐり厳しい言葉を使って小池都知事を攻め立てました。」

山崎一輝「無責任極まりない行動だと思います。どんどん意味不明な曖昧なものに変節したのは明白であります。まさにこれ裏切り行為ですよ。」

小池都知事「ええ、長々のご指摘ありがとうございます。」"

"ナレ「事の発端は一昨年 6 月にさかのぼります。」

小池都知事「築地は守る、そして豊洲を活かすということを基本方針の一とさせていただきます。食のテーマパーク機能を有する新たな市場として。」

ナレ「小池知事は豊洲移転後の築地市場の跡地利用として食のテーマパーク機能を持つ新たな市場を整備する基本方針を発表したのです。翌月の都議選では小池知事率いる都民ファーストが大勝しました。しかしその後、表現が徐々に変わっていきます。最初の発表から 5 ヶ月後には。」

小池知事「食のテーマパークということをお示しをしております、これはこれまでの築地の歩んできた歴史を踏

まえて一つの考え方として申し上げたものでございます。」

ナレ「小池知事は食のテーマパークについてあくまで一つの考え方としました。そして今年1月、東京都が素案を発表。」

小池知事「食のテーマパークをこえて、更にそれをウェルネスとか文化や伝統などを含めた形で築地で展開するというのが今回の報告の柱にもなっているわけで。」 "

"ナレ「素案には将来像がこう綴られています。」

素案「国際会議場などの機能を中核としながら文化・芸術・テクノロジーデザイン・スポーツ・ウェルネスなどの機能が融合して相乗効果を発揮。」

ナレ「2040年代の完成を目指し、国際会議や展示会などを行う大規模な施設を中心に再開発を行う方針を掲げたのです。」 "

"ナレ「一方、野党は公約違反だと攻め立てました。」

山崎一輝「知事が発表した基本方針の大転換を自ら決めてご自身で発表しなかったのはなぜですか。」

小池知事「大方針、方向性については変更していませんからです。」

山崎一輝「食のテーマパーク、これは影も形もありませんでした。知事の公約はその中身が完全に変わっているのに方向性は変わっていない、と言い張ることは詭弁以外に何者でもありません。」

小池知事「基本方針で示しましたのは、築地、豊洲、生かしていこう、という都の宝物を活かそうという考え方、これでございます、そう思いませんか？そこを共有できないですか。言葉が使われているかどうかということなどについては、それは誤解を生んだところもあるかもしれませんが、食ということについては長年培ってきた文化であると、ブランドである、と何度も申し上げているじゃないですか。」

ナレ「小池知事は方針は変わっていない、という答弁を繰り返し議論は平行線をたどりました。」 "

"ナレ「築地場内市場で店を持つ人は。」

築地場内市場の店主「間違いなら間違いと謝ればいいけど、期待していただけにちょっとがっかりしてますけどね。」

ナレ「築地に戻れることを前提に渋々豊洲に移転した山口さんはこう憤ります。」

山口タイ（築地女将さん会会長）「小池さんが選挙に勝ったときは皆さん、守りますよ、って言ったからわーっと喜んで、本当に騙して行かされた感じですよ、で、行っちゃえばもうみんな、そんなにすぐ変えるなんてことはできないし。」 "

放送法上は特に問題は見られなかった。

・東日本大震災から間もなく8年：結論→矢印特に問題なし

福島第一原発について以下に朱記したようにVTRで取り上げられていた。

ナレ「八年前、地震と津波で電源を失った福島第一原発は一号機と三号機、四号機が爆発、二号機もメルトダウンを起こしました。」

丸山拓（報告）「あちらが一号機ですけども、八年が経ちますが、未だに一号機の一番上には崩れ落ちた屋根や、瓦礫、鉄骨が積み重なったままです、で隣りにあるのが二号機です。そして、その隣がやはり爆発した三号機。三号機の上にはかまぼこ状のドームの屋根が完成しています。この下には使用済燃料のプールがあります。参考

機の内部が見えますが、未だに折れ曲がった鉄骨やコンクリートがむき出しになったままです。ええ、二号機と三号機間の通路を歩いています、こちらが二号機、線量計が鳴り出しました。こちらが三号機になります、壁がむき出しになっていますが、こちらに行くほど染料が高くなる、こちらに行くほど染料が低くなるということなんでちょっとやってみます。」

"ナレ「線量計の数値は 243 マイクロシーベルトを示していますが。」

丸山拓「こちらに近づいています、今は 273 マイクロシーベルトに上がっています。」

ナレ「事故から八年が経ち防護用のベストなどで歩けるエリアが増えましたが、三号機の中に入るにはやはり、防護服やマスクが必要です。」

丸山拓「あんまり長くいないほうがいいってさ、一言だけいいですか、一言だけ。三号機の 30 メートルほどの高さのところに来ています。隣に四号機ガメます、今でも壁に、爆発の凄まじい跡が残っています。当初入れないと言われていた三号機の中に入ることができました、ここまで、ここまでだって。ここより前に言ってはいけない、あそこの向こうが燃料プールなんです。」

ナレ「福島第一原発にとって現在の最優先課題の一つがプールの中に残った大量の使用済み核燃料の取り出しです。取り出しは四号機だけしか終わっていません。八年たった今も一号機には 392 体、二号機に 615 体、3 号機には 566 体の使用済み核燃料が残されたままなのです、三号機での取り出しは去年はじまるはずでしたがクレーンなどのトラブルが相次ぎ、延期を余儀なくされていました。」

"丸山拓「燃料の取り出しというのはいつからはじまるんですか。」

木元貴宏（東京電力福島第一廃炉推進カンパニーリスクコミュニケーター）「3 月の末、七回取り出します。」

ナレ「三号機だけで全ての核燃料を取り出すには二年かかります、一号機、二号機で取り出しがはじまるのはさらに先の 2023 年度の予定です、終わりは見えていません。」

このトピックに当てられた 226 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・米朝首脳会談：結論→特に問題なし

ボルトン大統領補佐官が CBS テレビで「私は米朝首脳会談を失敗とは思わない。大統領がアメリカの国営機を保護し前進させることを明確にした点で成功だと考える。」と述べた上で今後の北朝鮮側との協議について「期限はない、大統領は実務者レベルで交渉を続け、適切なときに再び金正恩党委員長と話す準備が十分にできている」と述べ交渉を続ける考えを示したとのことが伝えられた。

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"雨宮塔子「アメリカ側はかけ続ける姿勢ですね。」

星浩「そうですね、首脳会談の内幕がだんだん明らかになっているんですけども、一つその大きい話がありましてね、最終日のその全体会で、北朝鮮側の出席者が五人だったのに対してアメリカ側が 16 人もいたことがわかってきたんですね、まああの首脳会談でね、双方の数がこんなに違うのは極めて異例なことだと思いますね。」

駒田健吾「この 16 人という人数で迎え撃った、そのアメリカ側の狙いは何なのでしょう。」

星浩「あの、北朝鮮側が提示したその寧辺の各施設の解体とか制裁解除の問題とか専門家がですね逐一反論していったらいいんですね。それから北朝鮮が極秘に開発していたらしいカンソンの各施設についてもアメリカはこういうものがあるじゃないかという指摘をしたりしていたですね、まあ結局、アメリカの外交安全保障問題の専

## NEWS23 週刊報告 詳細版

門家が一齐にできてですね、その曖昧な合意は許さんと、いう対応にできてきたということだと思いますね。まあ金正恩委員長もこれはなかなか容易じゃないぞ、と、アメリカに対してはかなり綿密な非核化の計画を示さないと、これはうまくいかないなという、痛感しておそらく帰国したのだと思いますね。"

このトピックについて当てられた時間は 118 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・新元号「有識者懇談会」：結論→特に問題なし

来月 1 日に行われる新しい元号の公表をめぐり政府拝見を聞くための有識者懇談会のメンバーにノーベル医学生理学賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授らを起用する方向で検討に入ったとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 39 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ファーウェイ副会長がカナダ政府などを控訴へ：結論→特に問題なし

中国の通信機器大手ファーウェイの副会長がカナダ政府などを相手取り損害賠償を請求する訴えを起こすことになったとことが報じられた。このトピックについて当てられた時間は 33 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2019年3月5日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
<p>検証テーマ：ゴーン被告明日にも保釈へ、中国で全人代はじまる、国会論戦、森友問題          横浜市でやけどの長女（3）放置で逮捕、米朝首脳会談</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴーン被告あすにも保釈へ</li> <li>・中国で全人代はじまる</li> <li>・国会論戦</li> <li>・森友問題</li> <li>・横浜市でやけどの長女（3）放置で逮捕</li> <li>・「はやぶさ2」着陸映像</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・23Today             <ul style="list-style-type: none"> <li>ゴーン被告あすにも保釈へ</li> <li>中国で全人代はじまる</li> <li>米朝首脳会談</li> <li>IHI が航空機エンジンで不正検査</li> <li>セブンイレブンが24時間営業見直しへ</li> </ul> </li> <li>・天気予報</li> <li>・【速報】藤井・杉本棋士師弟同時昇級ならず</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴーン被告明日にも保釈へ：結論→特に問題なし</li> </ul> <p>東京地裁は今日カルロス・ゴーン被告の保釈を認める決定を出したとことが報じられた。これについてスタジオと中継で以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>"雨宮塔子「それではゴーン被告が勾留されている東京拘置所前から最新情報です、梶川さん。」</p> <p>梶川賢介（報告）「裁判所は今日、ゴーン被告の保釈を認める決定をしたことで、ここ、東京拘置所前には海外メディアも含む多くの報道陣が集まりました。ゴーン被告は去年11月の最初の逮捕から107日間勾留されていますが、今月初めに面会した関係者によりますと逮捕時よりも痩せて白髪が目立つものの元気な様子だった、ということです。裁判所は先程検察側の準抗告を退けたことで、ゴーン被告は保釈保証金を納めたあと保釈されることとなりますが、弘中弁護士は夜間のため納付できないとして保釈は明日以降になる見通しです。弘中弁護士は短時間でも本人の会見を開いたほうがいい、と話していて、ゴーン被告が保釈されたあと記者会見を開くことについて弁護団で協議する考えを示しています。"</p> <p>"雨宮塔子「はい、星さん、容疑を否認している被告のその保釈が決まるということは異例なことなのですが、それでも保釈が認められた背景というのはなんですか。」</p>		

星浩「まあそうですね、手続き的にはね、監視カメラとかをおいて、その証拠隠滅がなさそうだ、という判断が一つありますよね。それから勾留 100 日を超えましてね海外でもちょっと日本の司法制度おかしいんじゃないかという意見が出たりして、裁判所もそろそろタイミングと考えたのではないか、というまあ司法関係者はいますよね。まあこれからその記者会見などをやれば、さらにその検察側との対立は一層鮮明になると思いますね。」 "

このトピックに当てられた 444 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・ 中国で全人代はじまる：結論→特に問題なし

中国の全人代について VTR では以下に朱記したように取り上げられていた。

"磯田雄大（報告）「民族衣装を着た代表団が大会堂に到着しました。」

ナレ「全土からおよそ 3000 人が出席し、中国の国会に当たる全人代、全国人民代表大会が今年も開幕しました。厳しい表情で政府活動報告の演説に臨んだ李克強首相。中国経済の現状について。」

李克強首相「中米貿易摩擦が一部企業の経営や市場の期待に影響を与えた。」 "

"ナレ「米中貿易摩擦の影響に触れた上で去年は 6.5%前後だった経済成長率の目標を 6.0%~6.5%に引き下げました。」

李克強首相「我が国の発展が直面する環境は複雑さと厳しさが増し、リスクと試練が増大している。」 "

"ナレ「ここ数年下がり続けている中国の経済成長率、専門家は。」

富坂聰（拓殖大学海外事情研究所教授）「成熟期に入った老化ともう一つはその短期的な要因としての米中、この 2 つがダブルパンチになって最大下がってしまうとまあひよっとするとですね 6%きってしまうようなこともあり得るという。」 "

"ナレ「一方、アメリカへの一定の配慮も見え隠れしました。」

李克強首相「中国製造 2025、中国製造 2025」

ナレ「これまで全人代で繰り返し提言されてきた中国製造 2025。中国が先端技術で世界トップレベルを目指す産業政策です。アメリカはこの政策に警戒を強め、見直しを求めている、その影響からか今年の演説でその制作名はでてきませんでした。そして」 "

"トランプ大統領「技術移転を共用し知的財産を盗んでいる。」

ナレ「アメリカが特に問題視していた中国進出していた外国企業への技術移転の強要。これを禁止する外商投資法も今回の全人代で成立する見通しです。」 "

富坂聰教授「アメリカと対立するということはですね、得策でないということ、この全人代でもそれがよく出ているということですね。」

ナレ「また、景気が減速する一方で中国の国防予算は前年から 7.5%増の日本円でおよそ 19 兆 8000 億円を形状、日本の防衛費の四倍近くに拡大してます、全人代は 15 日まで行われます。」

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

"雨宮塔子「6%台の経済成長なら順調ではないかと思うんですがね。」

星浩「ええ、そうですね。2 つ問題あってね 7 とか 8 から下がってきますからね、どうしても減速感がありますよね。だからどうしても減税とか公共事業の手を打たなくちゃいけないというのと、もう一つはその 6%もちょっと怪しいんじゃないかという見方もあって日本の研究者の中でもせいぜい 3%とか場合によっては 0 に近い

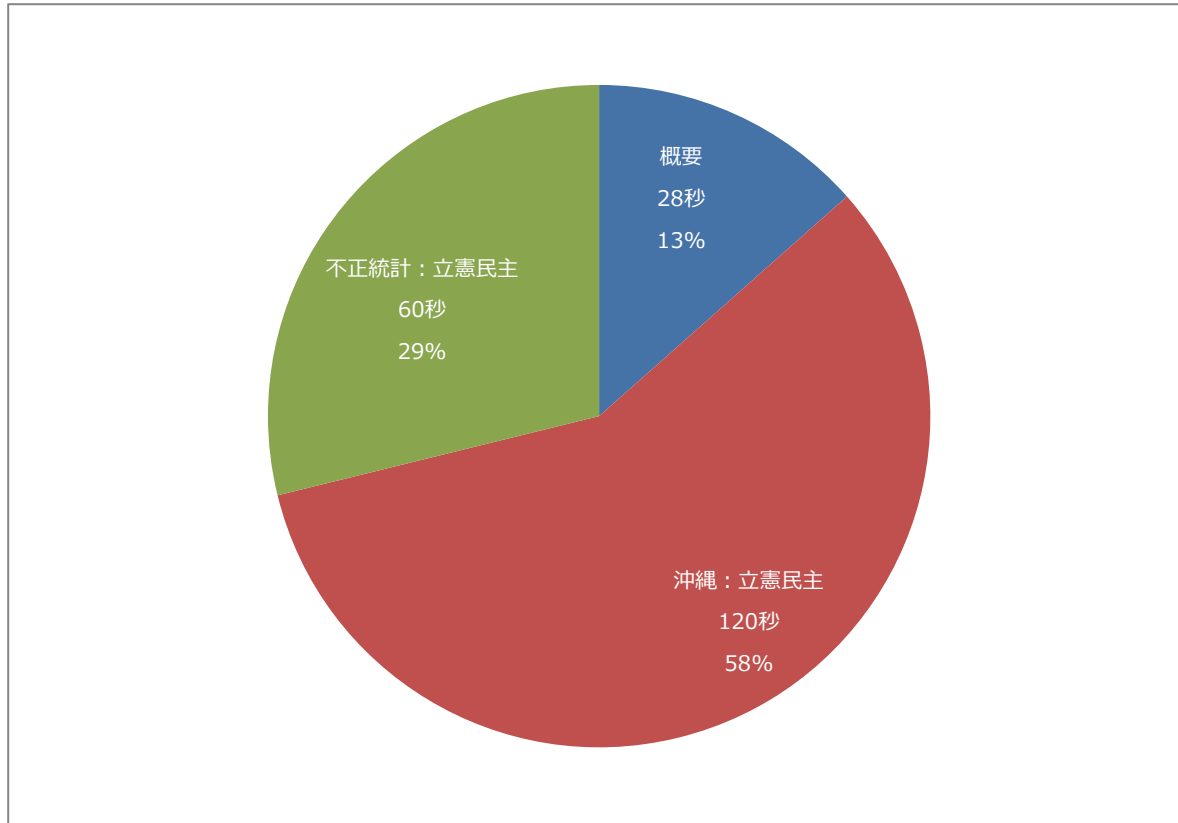


んじゃないかという人もいるぐらいで、ですから中国これから減速が続くわけですよ、そうすると日本にも観光客の買い物とか輸出の現象とかかなり影響がじわじわと押し寄せてくるんっていう感じですよ。」 "

このトピックに当てられた時間は 267 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- 国会論戦：結論→今回のような報じ方が続くのなら問題

国会論戦が取り上げられていた。このトピックに当てられた 208 秒で時間配分及び比率は以下の通りであった。



VTR では以下に朱記した様子が取り上げられていた。

ナレ「沖縄県の県民投票で七割以上が反対したのに、今も埋立工事が続く名護市辺野古」

"ナレ「野党は、こう追及しました。」

福山哲郎（立憲民主党幹事長）「県民投票での反対が圧倒的でした、県民投票の翌日の土砂投入を決めたというのはどなたですか。」

岩屋毅（防衛相）「わたくしで、ございます。予めですね、あの事業については継続をさせていただくというふうに決めておりましたので。」

福山哲郎「予め、県民投票の結果を全く無視して予め土砂の投入をすると決めていたんですね、県民投票の結果が出ようが、予め。」 "

ナレ「防衛省は県民投票の結果にかかわらず工事を続行すると決めていた、と明らかにしました。その決定に安倍総理が関わったのかについては。」

"福山哲郎「総理からの指示なり、意思決定はなかったんですか。」

岩屋毅「あの、総理へのご報告はですね、逐次行っておりますけれども、まあご了解を頂いていたということでございます。」

ナレ「総理も了解済みだったと説明しました。」

福山哲郎「総理、安倍内閣は県民投票の結果があろうがなかろうが無視をしようと思っていたということですか。」

安倍総理「普天間基地の全面返還を一日も早く実現するというのが安倍政権の基本方針であります。そのためには辺野古の基地が建設されなければならないということでございます、この方針を私は決めている。」

福山哲郎「これ県民投票はちゃんと地方自治法に基づいた民主的な手続きですが、そのことについては総理は無視をするということですか。」

安倍総理「その県民投票の結果について、論評する立場にはないということでございます。」 "

ナレ「一方、厚労省の統計不正問題を巡っては。」

蓮舫（立憲民主党副代表）「嘘はついたけど隠蔽ではないとは、どういう意味ですか。」

ナレ「野党が追及したのは先週公表された特別監察委員会による追加報告書、厚労省の担当者が嘘をついた、と認定する一方で、隠蔽はなかった、と結論づけた点を問題にしたのです。根本大臣は。」

"根本厚労相「きわめて、言葉が私も難しいと思いますが、」

安倍総理「この、一般的な感覚でですね、これは隠蔽ではないの、というふうに持たれるということは当然あるんだろうと思うわけでございますが、そこのところはですね、法律的な観点から、いわば厳密なこの定義の上から整理をされた、と。」 "

ナレ「国会では、あすも統計不正問題を中心に集中審議が行われる予定です。」

国会論戦では立憲民主党の質疑が取り上げられたのみであった。今回の取り上げ方から直ちに放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に反すると断定はできないものの、こうした報道が続くようであれば、それは放送法上問題であると言えるだろう。

・森友問題：結論→他の放送日との比較が必要

森友問題について以下に朱記したように籠池泰典氏への取材の様子が VTR で取り上げられていた。

"籠池泰典「おお、これこれ、ねええ、中は防音だから。やっぱりちっちゃい子達、飛行機好きだからこういうものみながらのほうが勉強できる。みんなね」

籠池泰典「良い建物ですよ、九割五分くらいできているんじゃないですか。」

ナレ「明日、初公判に望む籠池被告。小学校の建設を巡って国の補助金をだまし取ったとされる起訴内容について正すと。」

籠池泰典「いや、それは全然。そんな水増しなんかしてないけど、全くしてない。」 "

"ナレ「幼稚園の経営を巡って、大阪府などの補助金をだまし取ったとされる県については。」

籠池泰典「毎年一回監査に来られたわけですよね、そやったらそこで見なきゃあかんよね、そこで指摘してあげて、変な方向に行ったら、それはだめですって言ってあげるのが行政でしょ。」 "

"ナレ「かつて、その森友学園の幼稚園を訪れていたのが安倍総理の昭恵夫人です。」

昭恵夫人「ええ、こちらの教育方針は大変、主人も素晴らしいというふうに思っていて園長が瑞穂の國記念小學院という本当に素晴らしい名前をつけられました。」 "

"ナレ「今、その現場には時が止まったかのように官製目前の後者だけが残っています。」

籠池泰典「指一本触れられないという状態で、今入れない、鍵持っていないし、建物の権利は僕が半分、五分の二くらいはあるんだろうけど値引きできた土地がすぐに取り上げられて小学校の認可は頓挫し、まさに逆回転です、今までガーッと回っていたのが、今度は逆回転した。」 "

ナレ「逆回転の発端は二年前、なぜこの学校のために国有地が八億円も値引きして売られたのかという、疑惑が浮上し連日国会で取り上げられます。」

"安倍総理「私や妻が関係していたということになれば、これはもう、まさに、これはもう私は総理大臣も、それはまあ、間違いなく総理大臣も国会議員もやめる落ちうことははっきりと申し上げておきたい。」

安倍総理「問題点というのは果たしてこの売買価格が適正であったかということであろう、と。独立した会計検査院がしっかりと審査をすべきだろう、と。」 "

"ナレ「八億円の値引きについて籠池被告は改めて、こう主張しました。」

籠池泰典「神風というのはね、やっぱりどんと出てきたときと、その予兆があるでしょ、安く売るといふ形にせないかんなど、思ったことはよく分かる、この案件は安倍首相と安倍昭恵の案件ですよということは写真を見せてコピーを取らせてほしいと言った段階が、大きなうねりなんですよ。このあたりなんですよ、ここに立ってた、ここに、公立ってた。」 "

ナレ「一方、国有地を売った側の財務省は値引きの正当性を強調。地下に大量のゴミが埋まっていたとして、その撤去費用、八億円を値引きしたと主張しています。しかし、その後、会計検査院は実際のゴミの量は財務相の見積りの三割から七割だった可能性を指摘、単純計算でゴミの量は二億円ほどしかなかった可能性が疑われます。」

籠池泰典「ゴミはね、結局、あったと思います。それだけ八億何千万円分。わからない、わからない、ぼくは。わからないですよ本当に、僕も。それによって値引きをしたということやからそれは財務相の官僚にしかわからないんでしょね。」

ナレ「そして去年 3 月、森友問題は財務省の官僚による公文書改ざんにまで発展。昭恵夫人に関する記述がことごとく削除されていたことが明らかになったのです、ちょうどその頃籠池被告は拘置所の中、裁判を受けないまま 300 日以上に渡って勾留されていました。」

籠池泰典「300 日入れたというけど、300 日の間にすべて収束してしまったわけ、財務省の役人の罪もバツも何もなくなった。ね、これなんです。だって私が今起訴されている案件って 300 日って起訴、勾留される案件ですか、国策捜査であり国策勾留であり国策逮捕であった、これです、これだけです。公文書偽造や国有地売却を巡る敗因の容疑などで告発された財務省の佐川元理財局長ら 38 人はいずれも不起訴に、国有地八億円値引きの真相は明らかになっていません。」

VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「籠池被告の裁判が明日から始まりますが、でも起訴内容は国有地が八億円値引きされたこととは別件ですよ。」

星浩「そうですね」

雨宮塔子「ということはこの国有地の値下げ問題、解明されないままということなんですよ。」

星浩「そうなんですよ、この問題解明されていないのは私 2 つあると思うんですよ。この大幅値引きの背景にそ

の昭恵夫人がどこまで影響があったのかなかったのか。それからもう一つはその、佐川理財局長、当時のね、理財局長、虚偽答弁していますからね、国会で。この背景ですよね、財務省の幹部に聞くと、やっぱりその準備不足で強引な答弁をしてしまったとかですね、官邸への配慮しすぎだとかいうんですけども、全体のその官僚の付度の構造は未だに解明されていないということですよ。」

今回は籠池氏に焦点を当てた報じ方であったが、他の放送日で他の関係者の声も伝えるような報じ方がされるのであれば、問題とは言えないと考える。

- ・横浜市でやけどの長女（3）放置で逮捕：結論→特に問題なし

横浜市で重い火傷を負った三歳の長女を自宅に放置したとして母親と交際相手が逮捕されたとのこと、こうした中で、厚生労働省は今日、児童虐待の防止策について強化する内容の法案を自民党に提示し、親権者などによる体罰の禁止を条文に明記することや児童相談所の体制を強化することなどが法案の柱となっているとのこと、政府は本月 19 日の閣議決定を目指し条文の調整を急ぐ考えであるとのことと報じられた。このトピックに当てられた 139 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

- ・米朝首脳会談：結論→特に問題なし

北朝鮮の国営テレビは二回目の米朝首脳会談でベトナムを訪れていた金正恩党委員長が平壤に到着したと報じ、その中で「世界の大きな関心が集まる中、朝米首脳会談は成功裏に終えた」と伝えたが非核化措置や制裁解除を巡って合意に至らなかったことについては触れなかったとことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は 26 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・森友問題：結論→問題あり

スタジオでは星キャスターが「そうなんです、この問題解明されていないのは私 2 つあると思うんですね。この大幅値引きの背景にその昭恵夫人がどこまで影響があったのかなかったのか。それからもう一つはその、佐川理財局長、当時のね、理財局長、虚偽答弁していますからね、国会で。この背景ですよね、財務省の幹部に聞くと、やっぱりその準備不足で強引な答弁をしてしまったとかですね、官邸への配慮しすぎだとかいうんですけども、全体のその官僚の付度の構造は未だに解明されていないということですよ。」と述べていたが、そもそも財務官僚に安倍政権に対して森友問題でそこまで付度をしなければならぬ理由というのがないようにも思える。

この問題については付度という可能性も否定できないが、同時に財務官僚の怠惰であるとか、大阪にある国有地の問題というのは本来はどのレベルで実際には処理される問題であるのかとか、そもそも本省局長に聞くことが適当だったのかなど問題もあるだろう。

実際に付度の構造があるのかもわからない中で、「付度の構造は未だに解明されていない」と、いかにも付度の構造があることが前提であるかのようなコメントをするのは、視聴者に対しても付度ありきという印象を与えかねないものであると言えるだろう。

### 検証者所感

- ・横浜市でやけどの長女（3）放置で逮捕

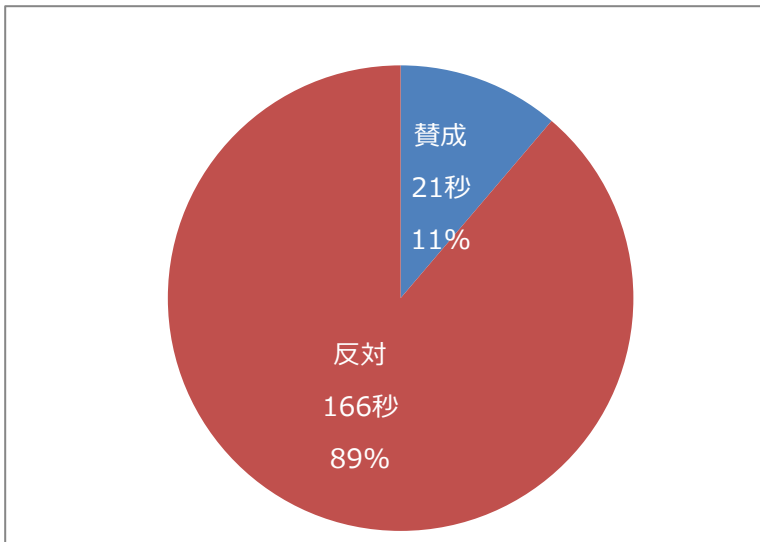
事件自体は痛ましいものではあるが、そうした中での厚生労働省の動きとしての児童相談所の体制強化などは結局の所、厚生労働省の予算規模の拡大や権限の肥大化を伴うものであると言えるだろう。

厚生労働省と言え、最近では統計不正の問題などで信用に疑問が付されているが、そうした信用できない役所に金や権限を新たに与えるというのは危険だ、という意見などは出てこないのだろうか。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2019年3月6日
出演者： 星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ： カルロスゴーン被告が保釈、籠池被告初公判、統計不正問題 38 ノースがミサイル関連施設の衛星写真を公開		
報道トピック一覧 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルロスゴーン被告が保釈</li> <li>・ 籠池被告初公判</li> <li>・ 統計不正問題</li> <li>・ 薬物依存について清原和博氏語る</li> <li>・ 白血病公表の池江璃花子氏が 21 日ぶりに SNS 更新</li> <li>・ やけどの娘放置で両親が保護責任者遺棄罪で逮捕</li> <li>・ 暴行動画拡散で 16 歳の少年 4 人を逮捕</li> <li>・ みずほ FG が大幅下方修正</li> <li>・ スポーツ情報</li> <li>・ 23Today                     <ul style="list-style-type: none"> <li>カルロスゴーン被告が保釈</li> <li>籠池被告初公判</li> <li>38 ノースがミサイル関連施設の衛星写真を公開</li> <li>韓国大気汚染深刻化</li> <li>野田市小 4 女児虐待事件で父親が傷害致死罪で起訴</li> </ul> </li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルロスゴーン被告が保釈→結論：放送法第四条の見地からは問題なし                     <p style="margin-left: 20px;">日産自動車の前会長であるカルロスゴーン被告が保釈されたことに関しての報道。番組冒頭では作業員のような格好で拘置所を出るゴーン被告の姿が紹介されていた。一連のゴーン被告の装いを受けて日産自動車の西川社長は「そういうこともあるでしょうから別に想定の範囲内。後は司法のプロセスの中で行われるだけかと思いません。」とコメントしていた。またゴーン被告の長期にわたる拘留について海外から人質司法との批判があがっていることについても言及され、元東京地検検事の郷原信郎弁護士は「人質司法というのは罪を認めない限り身柄拘束が解かれない。海外では無罪を主張するということが被告人の権利。その権利を行使することで長期間身柄を拘束されるのはおかしいのでは根本的に疑問がある。」と述べていた。このトピックスは 428 秒伝えられ特に問題点は見当たらなかった。</p> </li> <li>・ 籠池被告初公判→結論：放送法第四条第一項二号に抵触の恐れ                     <p style="margin-left: 20px;">森友学園の小学校建設などを巡って詐欺などの罪に問われている籠池被告の初公判についての報道。このトピ</p> </li> </ul>		

ックスは 576 秒報じられていた。また同報道において政府の見解に肯定的な意見を賛成。否定的な意見を反対として集計したところ以下のような賛否の時間及び比率となった。



肯定的な意見としては 8 億円の値引きの根拠について問われた際の石井啓一国交相による「写真の選定は間違えたものの、ごみの層を記載した説明内容に誤りはない。」との発言や、更なる公文書かいざんの経緯を記した行政文書を求められた麻生太郎財務大臣からの「事務方において徹底して調べた範囲でこれまで出したもの以上のものを発見することはできておりません。」との返答が紹介されていた。

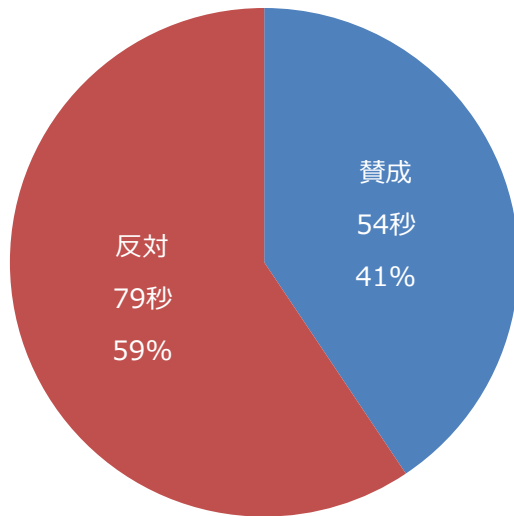
否定的根意見としては籠池被告の弁護士が冒頭陳述の際に述べた「本件は権力者の意図を忖度することなく、厳格に法を適用する司法であるか否かが問われている。国有地の格安売買疑惑が報道されたのを機に疑惑を否定しようとする何者かの思惑により政権中枢から籠池夫妻を遠ざけようとする力が働いたのではなかったか。」との発言などが取り上げられていた。

これらを受けてスタジオではコメンテーターの星浩氏は「文書改ざんについて全体像はまだ明らかになっていないんですね。佐川さんの役割、総理官邸との関係はどうだったのかもはっきりしていないということなんですね。公文書というのは民主主義の基盤のようなものですよね。そういう意味で民主主義への挑戦とも言える事件ですが、うやむやにするわけにはいかないと思いますね。」とコメントしていた。

報道全体を通して否定的な意見の時間的比率が極めて高く放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること」を遵守しているとは言い難い報道内容であった。また印象操作と思われる箇所も確認されており詳細は下項目に記すこととする。

・統計不正問題→結論：放送法第四条第一項二号、四号に抵触の恐れ

勤労統計の不正問題を検証した厚生労働省の特別監察委員会の樋口委員長に対する国会での質問についての報道。このトピックスは 420 秒報じられていた。同報道において樋口委員長の意見に肯定的な意見を賛成。否定的な意見を反対として集計したところ以下のような時間及び比率となった。



肯定的な意見としては国民民主党の大塚耕平代表代行からの「委員長も一般の感覚では隠ぺいであるとお考えになりますか。」との質問に対して「きわめて不都合な真実であるとか深刻なふせいであるなどと捉えていたとは認められませんでした。随所でいずれ不適切会計綱取り扱いが露見するだろうなというような、その場しのぎの事務処理をしていたことが認められます。」との回答などが紹介されていた。

否定的な意見としては立民会派小西洋之議員からの「事実を隠す意図の有無を確認しないのであれば皆さんが定義した隠ぺい国威を確認することは論理的に出来ない。隠ぺいは認められない目的をもって作られた報告書ではないですか。」「安倍総理のように時間稼ぎをするような総理は戦後一人もいませんでしたよ。国民と国会に対する冒とくですよ。」という発言が紹介された。

これらを受けてスタジオでは星浩氏が「横島長官は安保法制の審議のときに、集団的自衛権の一部容認は憲法違反じゃないという理論武装をして安倍政権を後押ししたということもあって、当時、野党とか憲法学者から相当厳しい非難を浴びた人物ですよ。今日の発言は、明らかに野党に対して腐している発言でして、これは官僚を超えた不適切な発言だと思いますね。内閣法制局というのは中立的な立場で、専門的な立場で法律の審議をして、法の番人と言われてきたんですが、この横島氏のような姿勢では法の番人ではなくて政権の番人になってしまいますよね。」とコメントしていた。

報道全体を通して否定的な意見が目立つと共に「横島氏のような姿勢では法の番人ではなくて政権の番人になってしまいますよね。」との星浩氏のコメントのような中立性に欠けた発言がスタジオでもなされており放送法第四条第一項二号の「政治的に公平であること」を遵守していたとは言い難い。また小西議員の「安倍総理のように時間稼ぎをするような総理は戦後一人もいませんでしたよ。国民と国会に対する冒とくですよ。」という意見について、報道を通して対となる関係や与党関係者の発言は確認できず放送法第四条の第一項四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」についても抵触する恐れがあると結論する。



- ・ 38 ノースがミサイル関連施設の衛星写真を公開→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

駒アメリカの北朝鮮分析サイト、38 ノースが北朝鮮が廃棄すると表明したミサイル関連施設の衛星写真を公開、施設の再建の動きが進んでいると発表したことについての報道。動きが確認されたのは、先日物別れに終わった米朝首脳会談の後であることも伝えられた。この報道は 23 秒報じられ特に問題点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

- ・ 籠池被告初公判→結論：印象操作の疑いが強い

番組内で籠池氏の「本当は安倍晋三記念小学院にしようと思った経緯はあるんだけど、ちょっと違って違う。だまされてるわ」との発言の後に CM に入るシーンがあった。具体的に何をどう騙されたかについての説明は前後で観測できなかった。一連の演出は視聴者の理解を促すには不適當であると共に、根拠が不明確であるにもかかわらず疑惑を強めるような印象を与えかねないものであり印象操作の疑いが強いと結論する。

- ・ 統計不正問題：印象操作の疑いあり

星キャスターはスタジオで「横島長官は安保法制の審議のときに、集団的自衛権の一部容認は憲法違反じゃないという理論武装をして安倍政権を後押ししたということもあって、当時、野党とか憲法学者から相当厳しい非難を浴びた人物ですよ。今日の発言は、明らかに野党に対して腐している発言でして、これは官僚を超えた不適切な発言だと思います。内閣法制局というのは中立的な立場で、専門的な立場で法律の審議をして、法の番人と言われてきたんですが、この横島氏のような姿勢では法の番人ではなくて政権の番人になってしまいますよね。」と述べていたが、内閣法制局が「法の番人」だというのは初耳だった。

**内閣法制局**  
CABINET LEGISLATION BUREAU

ENGLISH  
文字サイズ 小 大

サイト内検索

ホーム

最近の法律・条約

法律ができるまで

お知らせ

**内閣法制局設置法**  
(昭和二十七年七月三十一日法律第二百五十二号)

最終改正: 昭和四四年五月一六日法律第三号

(設置)

**第一条** 内閣に内閣法制局を置く。

(法制局長官)

**第二条** 内閣法制局の長は、内閣法制局長官とし、内閣が任命する。

**2** 長官は、内閣法制局の事務を統括し、部内の職員の任免、進退を行い、且つ、その服務につき、これを統督する。

(所掌事務)

**第三条** 内閣法制局は、左に掲げる事務をつかさどる。

- 一 閣議に附される法律案、政令案及び条約案を審査し、これに意見を附し、及び所要の修正を加えて、内閣に上申すること。
- 二 法律案及び政令案を立案し、内閣に上申すること。
- 三 法律問題に関し内閣並びに内閣総理大臣及び各省大臣に対し意見を述べること。
- 四 内外及び国際法制並びにその運用に関する調査研究を行うこと。
- 五 その他法制一般に関すること。

(<https://www.clb.go.jp/info/syokan/settihou.html>)

放送法遵守を求める視聴者の会

## NEWS23 週刊報告 詳細版

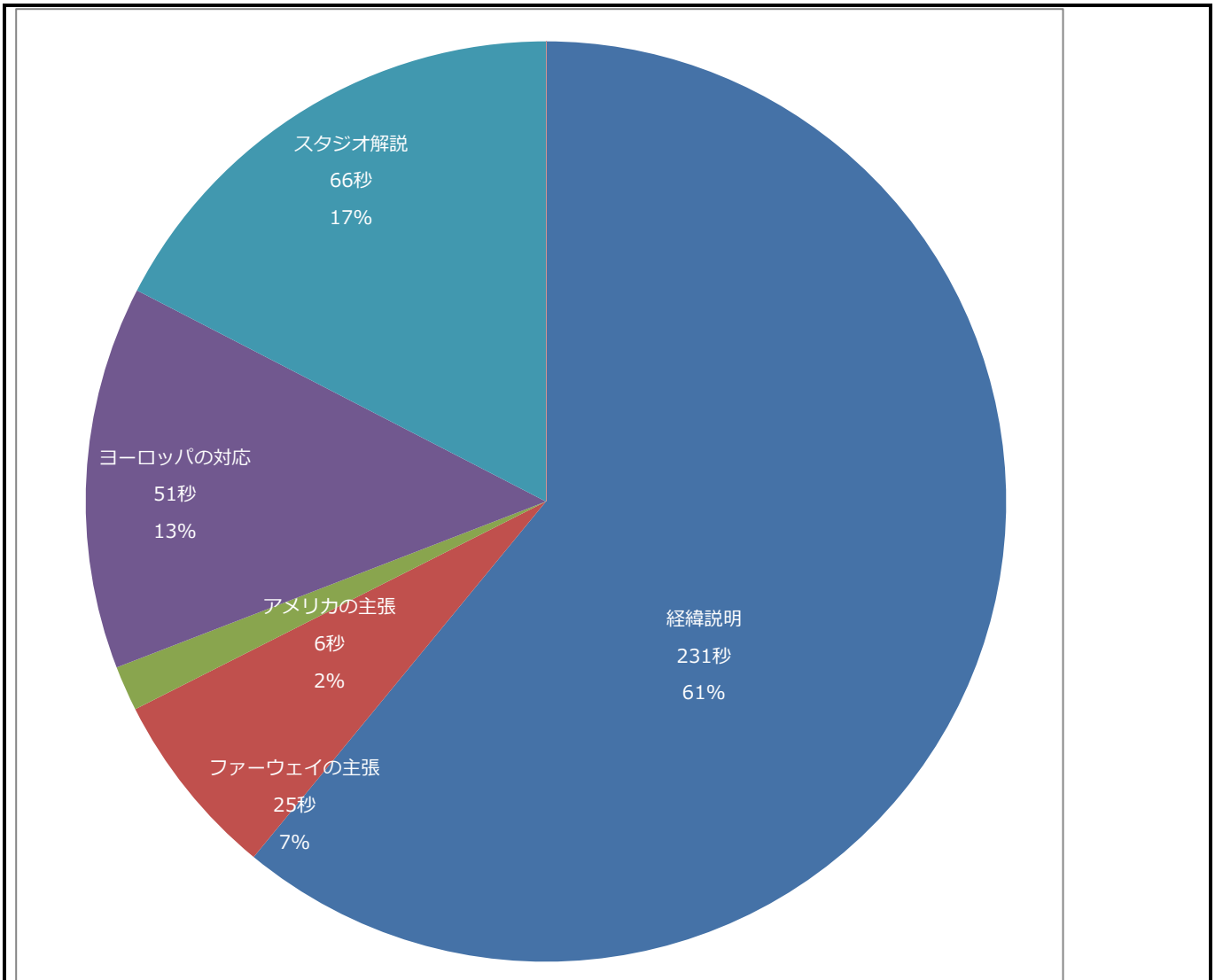
内閣法制局設置法には上記のように、所掌事務が定められているが、これを読む限りにおいても、内閣法制局の役割は「法の番人」ではなく「内閣の法律顧問」というのは明らかである。そのため、星キャスターのいう「内閣法制局というのは中立的な立場で、専門的な立場で法律の審議をして、法の番人と言われてきた」というのは、それ自体が法律論として誤りである。また、内閣法制局が「中立的な立場の法の番人」であると語ることも自体が、設置法で定められた所掌事務などとはかけ離れた印象を与えるものであり、印象操作の疑いも否めない。

検証者所感

特になし

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送：2018年3月7日
出演者：皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙		
検証テーマ：ファーウェイがアメリカ政府を提訴、景気基調判断を引き下げ、内閣法制局長官発言問題 北朝鮮問題		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴーン被告が保釈</li> <li>・ ファーウェイがアメリカ政府を提訴</li> <li>・ 虫歯治療後に女兒死亡</li> <li>・ 改元に便乗 詐欺未遂事件</li> <li>・ 景気基調判断を引き下げ</li> <li>・ 内閣法制局長官発言問題</li> <li>・ 北朝鮮問題</li> <li>・ スポーツ報道</li> <li>・ 23Today</li> <li>    ゴーン被告保釈</li> <li>    ファーウェイがアメリカ政府を提訴</li> <li>    女性が覚せい剤を混入され死亡</li> <li>    イルカの群れが瀬戸内海で目撃</li> <li>    吉野家に新サイズ</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファーウェイがアメリカ政府を提訴→結論：放送法第四条の見地から問題あり</li> </ul> <p>今回は、アメリカが主導するファーウェイ包囲網とそれに対するファーウェイの反応とヨーロッパの反応について報じられた。今トピックにあてられた報道時間は379秒で、経緯説明・ファーウェイの主張・アメリカの主張・ヨーロッパの対応・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。</p>		



報道の内容は以下の通り。

雨宮「続いてはこちら。カナダで逮捕された中国の通信機器大手ファーウェイの孟晩舟被告です。6日、司法手続きのため裁判所に出廷しました。」

駒田「そして、これと並行する形で今日、中国のファーウェイ本社で会見がありました。今度はファーウェイがアメリカ政府を相手取って訴えを起こしたようです。」

レポーター「今、孟副会長が自宅から出てきました。孟副会長が自宅から出てきました」

ナレーター「カナダで保釈生活を送るファーウェイの副会長、孟晩舟被告。向かったのはバンクーバーの裁判所です。アメリカに身柄が引き渡されるのかどうか。本格的な審議はこれからですが、司法手続きが行われました。それから間もなくして、中国本土でファーウェイが大きな動きに出ました。」

郭平副会長「ファーウェイはアメリカ政府に対し、訴訟を起こしました。」

ナレーター「去年、8月政府機関でのファーウェイ製品の使用を禁じたトランプ政権。ファーウェイはこれがアメリカ憲法に違反しているとして、テキサス州の裁判所に訴えを起こしたのです。」

郭平副会長「アメリカ政府はファーウェイがサイバー空間での脅威となっていると非難しているが、その証拠は

何も示していない。アメリカは5Gの市場から我々を締め出そうとしている。」

ナレーター「今の4Gと比べて通信速度が10倍から100倍になると言われている次世代規格5G。遠隔操作による自動運転や離れた場所での医療行為ができるようになるなど成長が確実視されている分野です。アメリカはこの5Gをめぐり、この市場からファーウェイを締め出そうとしているのです。先月ヨーロッパを訪れたペンス副大統領は。」

ペンス副大統領「ファーウェイやほかの中国の通信会社もたらす脅威は明確だ。」

ナレーター「ペンス氏はファーウェイ製品を使うことで情報が漏れる可能性を指摘。各国にファーウェイ製品の排除を呼びかけました。日本はすでに政府調達からファーウェイ製品を排除する方針を固めました。オーストラリアなども追随し、ファーウェイ包囲網が築かれつつあるかに見えました。しかし。」

畑場記者「イギリスではご覧の情報機関、MI6のトップがたびたびファーウェイの製品を使うことに対する懸念を表明してはいますけれども、イギリス政府の対応はアメリカ政府の対応などと比べると少々温度差があるように思われます。」

ナレーター「地元のメディアはこう報じています。『ファーウェイはイギリスの5G設備への参入を許されるようだ。ただし、最大50%だけ。』イギリスでは設備全体の50%という制限を設けたうえで、ファーウェイの参入を認める方向だということです。中国情勢に詳しい専門家は。」

遠藤誉センター長（東京福祉大国際交流センター）「EU離脱によって経済的に困っているイギリスと、米中貿易戦争で困っている中国が手を結ぶというのは非常に自然な流れで。ファーウェイ製品というのは高性能でありながら非常に安い。したがって、絶対にヨーロッパ諸国はファーウェイの製品を買いだろろうと、ファーウェイの創始者、任正非氏は大きな自信を持っている。」

ナレーター「イギリスなどヨーロッパ各国ではすでにファーウェイの技術が進んでいます。ドイツ政府についてもここにきてファーウェイの排除に慎重との報道が。ファーウェイが情報を漏らすのではとのアメリカの主張にも業界からは疑問の声があがっています。『今のところ根拠のない話ばかりです。アメリカ政府は根拠を示す必要がある。』（英・ボードフォンCEO）」

遠藤「これはあくまでもハイテク戦争であり、ハイテクの覇権争い。どんなことがあってもファーウェイを倒したいという強い気持ちを持ち続けている。その状況の中でヨーロッパが中国のほうについたら何が起きるか。それを考えるとイギリスの動きというのは非常に大きなインパクトを持っている。」

雨宮「アメリカと中国の覇権争いが続いています。ヨーロッパと比べると若干温度差があるようですね。」

星「そうですね。実はアメリカを中心としたファイブアイズというグループがありまして、英語圏で軍事機密などを共有しているんですけども、オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、それからイギリスですよ。しかし、これに対して中国がこれを正面の敵だと揺さぶりを最近かけているというのが現実ですよ。」

駒田「結束力が強そうですね。具体的にどんな揺さぶりをかけているのでしょうか。」

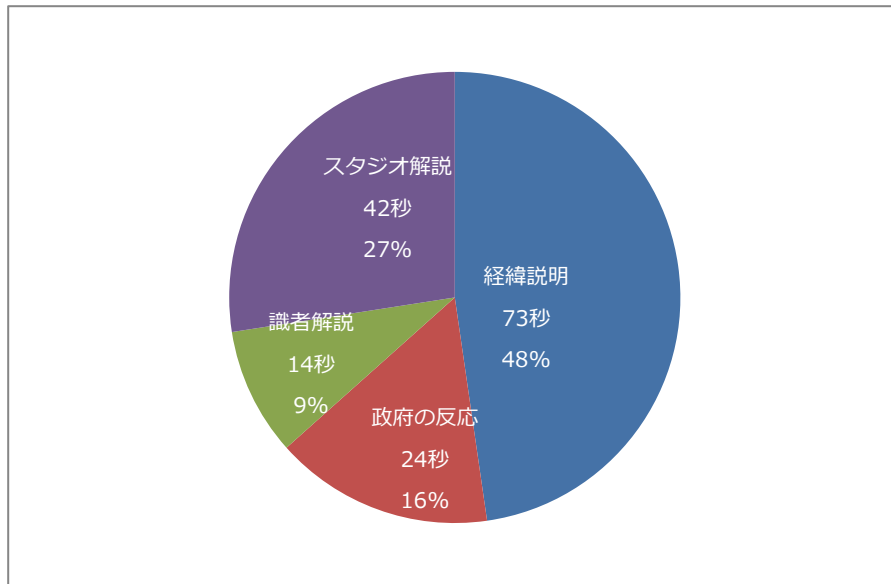
星「まず、あの、今回カナダは孟晩舟被告が逮捕されたのと合わせるかのように中国が中国国内でカナダ人を拘束していますよね。それからオーストラリアは資源とか農産物を大量に買い付けて揺さぶっていると。イギリスに対しても巨額の投資話を持ち掛けているということなんですよ。実は東南アジアでも米中のかけひきというのはものすごく活発になっていまして、ある意味でファーウェイ問題というのは世界規模で進んでいる米中の覇権争いの一局面と捉えることもできますよね。」

時間配分のグラフを見ると、アメリカの主張に時間がほとんど割かれていないことが判る。報道の内容を見るとファーウェイの立場に特別肩入れした内容とは思われないが、時間を割かないということはそれ自体が報道の公平性という観点から問題があると判断される。

今トピックは放送法第四条第一項第二号「政治的に公平であること」に抵触すると判断できる。

- ・景気基調判断を引き下げ→結論：放送法第四条の見地から問題あり。

今回は先月の景気動向指数が発表され、その結果が政府が先ごろ発表した「戦後最長の経済成長」という判断と食い違うものであったことが報じられた。今トピックにあてられた報道時間は 153 秒で、経緯説明・政府の反応・識者の解説・スタジオ解説に焦点があてられる内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



報道の内容は以下の通り。

皆川「一月に景気回復の期間は戦後最長になったと発表していた政府。しかし、実は景気が後退していた可能性を示唆する経済指標が今日発表されました。」

ナレーター「内閣府が今日発表した1月の景気動向指数。現在の動向を示す一致指数が前月と比べ、マイナス2.7ポイントとなり、3か月連続で悪化しました。これにより景気の基調判断は4年2か月ぶりに下方への局面変化に引き下げられました。」

茂木経済再生相「今月で74か月。戦後最長になったと見られます。」

ナレーター「1月の月例経済報告で政府は今の景気回復の期間が戦後最長になった可能性が高いと発表していましたが、実際には景気の後退が始まっていた可能性が出てきたのです。政府の見立てと異なる景気動向指数について菅官房長官は。」

菅官房長官「景気動向指数は各経済指標の結果をそのまま指数化するため、本来景気基調判断とは分けて考えたほうが良い要因の影響も考慮されていない。」

ナレーター「こう述べたうえで、景気は緩やかに回復しているとの認識に変わりはないことを強調しました。一方、専門家は。」

永濱利廣首席エコノミスト（第一生命経済研究所）「去年 11 月くらいから景気後退の可能性があるとしていた。しっかりと見ないで、戦後最長の可能性と判断したのは拙速だったのでは。」

雨宮「戦後最長の好景気と発表あったばかりですが、実際には景気は後退していたのでしょうか。」

星「この情報は午後、永田町にも流れてちょっとざわついています。アメリカと中国が少し減速気味なので、ある意味では当然なのでしょうが、焦点は日本の場合 10 月 1 日の消費増税ですよね。予定通りやって景気がさらに減速するのか。見送るというオプションを取った場合どうなるのかですけれども。この場合、子育て支援などそれをあてにしてやっているプランが無くなりますから、これに対する批判も出てきますよね。だから、景気減速に関する判断というのは、非常に難しい判断が迫られていると思います。」

時間配分に大きな問題があるわけではないが、雨宮キャスターの「戦後最長の好景気と発表あったばかりですが、実際には景気は後退していたのでしょうか。」という発言には「可能性」という言葉が抜けており、誤解を招きかねない表現である。誤解を与えるということは広く放送される報道番組で印象操作をしていると判断されるものである。今回の発言が直ちに印象操作につながるものとは考えにくいが、不用意な発言であることは間違いない。

今トピックは放送法第四条第一項第三号「報道は事実を曲げないですること」に軽微ながら違反していると判断される。

・内閣法制局長官発言問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は内閣法制局長官の発言とそれに対して伊吹元衆院議長が批判していることが伝えられた。今トピックにあてられた報道時間は 57 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・北朝鮮問題→結論：放送法第四条の見地から問題なし。

今回は北朝鮮が廃棄を表明した核施設で再建設の動きがあることが伝えられ、それに対するトランプ大統領のけん制の内容が伝えられた。今トピックにあてられた報道時間は 30 秒で、経緯説明が主な内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨特になし。

#### 検証者所感

・内閣法制局長官発言問題

内閣法制局長官の発言を批判した伊吹文明元衆院議長だが、派閥は志帥会に所属しており、その人物が政権批判につながりかねない発言（政権というよりも官僚の姿勢をだが）をしたことは個人的に少々意外に感じられた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

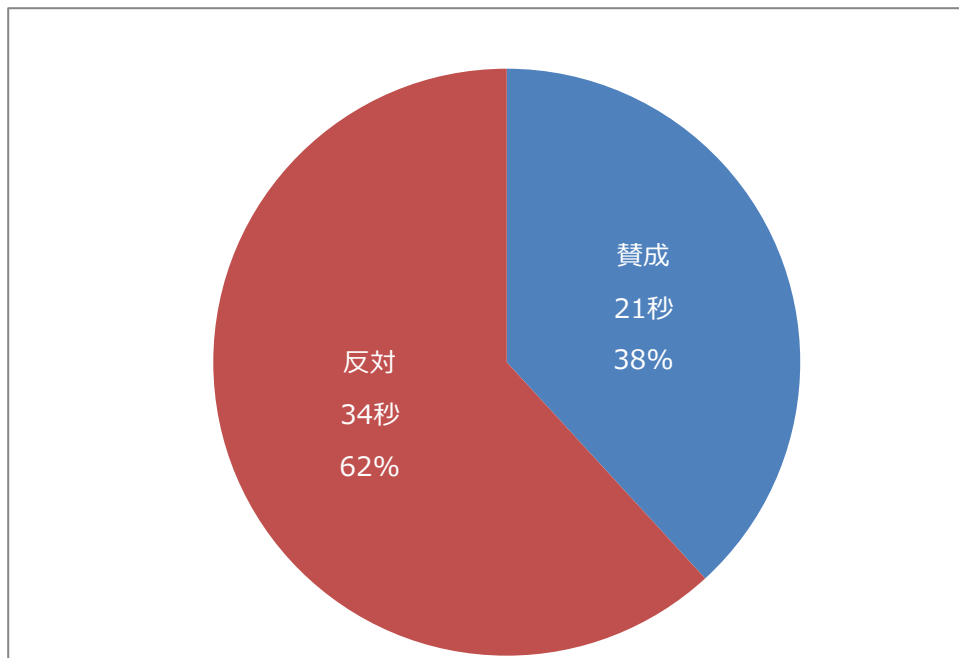
テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送日： 2019年3月18日
出演者： 星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ： カルロスゴーン被告が家族と新宿御苑に、国際女性デー、 大坂都構想巡り府知事と市長が同時辞任、内閣法制局長官を嚴重注意		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルロスゴーン被告が家族と新宿御苑に</li> <li>・ 透析中止で女性死亡</li> <li>・ ながら運転厳罰化へ</li> <li>・ 国際女性デー</li> <li>・ 震災復興にAI活用</li> <li>・ SNSで虐待動画拡散</li> <li>・ 大坂都構想巡り府知事と市長が同時辞任</li> <li>・ 内閣法制局長官を嚴重注意</li> <li>・ スポーツ情報</li> <li>・ 23Today</li> <li>カルロスゴーン被告が家族と新宿御苑に</li> <li>透析中止で女性死亡</li> <li>復興基本方針見直し</li> <li>ザ・デストロイヤーさん死去</li> <li>・ 天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルロスゴーン被告が家族と新宿御苑に→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 日産自動車前会長、カルロスゴーン被告が家族と共に新宿御苑に姿を現したことについての報道。その後保釈の条件として定められている制限住居に戻ったゴーン氏はノーコメントと一言だけ言葉を発して建物の中に入っていく様子が報じられていた。このトピックスは149秒報じられ特に問題点は見当たらなかった。</li> <li>・ 国際女性デー→結論：放送法第四条の見地からは問題なし 国際女性デーにあわせて女性の社会参加について焦点を当てた内容。特に国会における女性議員の割合の低さが大きな問題として取り上げられていた。日本は、女性議員の割合がおおよそ10%で、調査した193カ国中、165位となっており、現在、唯一の女性閣僚で女性活躍担当の片山さつき大臣は女性が国会議員に立候補しやすくなるよう政府として条件整備を進めていく考えを示した。しかし会見上では「これは本当に難しい。効果のある対策があればもう、とっくにやっていると思う。」と本音を漏らしていた。 これらを受けてコメンテーターの星浩氏は「国会だけじゃなくて、地方議会も男性優位というか、男性が圧倒的に多いですね。男性は、やっぱり女性が増えてくることに対して非常に消極的な動きがありますよね。じゃ</li> </ul>		



どうすればいいのかというと、男性の判断に任せるといっただけじゃうまくいきませんので、手っ取り早いのは、法律をつくるとか、女性を何%にするとかいう、それから条例をつくるということなんですけど、それができないとすれば、政党が努力目標をつくって、3割だとか4割だとかとりあえずつくってクリアしていくことが大事だと思うんですね。子育てとか教育とか、男女で協力してやっていかななくてはならない政策が山積してますのでぜひやってもらいたいですし、この4月の統一地方選は、女性議員をどうやって増やすかということを考えるいい機会になると思いますね。」と述べていた。このトピックスは 322 秒報じられ特に問題点はなかった。

・大阪都構想巡り府知事と市長が同時辞任→結論：放送法第四条第一項四号に照らし合わせると不十分

大阪都構想が暗礁に乗り上げたことを受け大阪府の松井知事と吉村大阪市長がそろって辞職願を提出。知事と市長が入れ替わってダブル選挙に臨むことについての報道。同報道内でこの選挙に肯定的な意見を賛成、否定的な意見を反対として集計したところ以下のような比率及び時間となった。



肯定的な意見としては松井大阪府知事の「今まさに大阪と構想がつぶされかけている。住民の皆さんにもう一度判断いただく。掲げた公約をやりきりたいと、守り切りたいと。」と会見の様子を報じていた。また吉村市長は「公明党に騙されたまま終わるのであれば死んでも死に切れません。」と大阪都構想をめぐる住民投票の実現に公明党の協力が得られなかったことについても言及していた。

これらを受けてコメンテーターの星浩氏は「自民党の幹部は、今回の選挙は、維新の府議選と市議選が4月にあるんですけれども、てこ入れじゃないかと言っているんですね。選挙に出るのは自由ですけれども、政治家にはそれなりの見識が必要ですよ。ここはどういう目的でこの選挙をやるのかきちっと打ち立てること、それから、自分たちの政党の都合でこういう選挙に打って出るといっただけじゃ党利党略ということになると思いますね。」とコメントしていた。

統計全体としては賛否の比率は一程度均衡はしているものの、否定的な意見は全て星浩氏のコメントによるもので多角性に欠けるものであった。これは放送法第四条第一項四号の「意見が対立している問題については、で

## NEWS23 週刊報告 詳細版

きるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らし合わせると不十分であると結論する。

- ・内閣法制局長官を嚴重注意→結論：放送法第四条の見地からは問題なし

国会で野党議員の質問姿勢について、声を荒らげてと揶揄するような発言をし批判を浴びた横畠内閣法制局長官に対し参議院の予算委員長が嚴重注意したことについての報道。横畠氏は、野党議員からの辞任要求を拒否した上で、しっかりと職責を果たしていきたいと述べたことについても併せて報じられた。このトピックスは 35 秒で特に問題点は見当たらなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし

検証者所感  
特になし